

## 令和2年度の<sup>しぎ</sup>時宜をとらえた取り組み

この新たな局面へのスタートとなる令和2年度の時宜をとらえた取り組みとしては、まず**スポーツ**です。

いよいよ7月から東京2020オリンピック・パラリンピックが始まり、令和3年には三重とこわか国体・三重とこわか大会が開催されます。津市においては、4月8日にサオリーナをスタート地点として県庁までの東京2020オリンピック聖火リレーが行われ、昨年的一年前キャンプに引き続き、ホストタウンとしてカナダレスリングチームの直前キャンプを受け入れます。

また、5月からは、市内各所で三重とこわか国体のリハーサル大会も始まります。インターハイなどで培ってきたこれまでの経験をか

なく発揮し、国体終了後の交流人口の拡大につなげていくことも見据えながら、キャンプや大会をより良いものにしていくという気持ちで、市民の皆さまとともに、津市を挙げて心を込めたおもてなしを行ってまいります。

次に、**国土強<sup>きょうじん</sup>靱化**への取り組みです。近年、全国的に自然災害が激甚化し、「数十年に一度」「これまでに経験したことがない」という言葉を当たり前のように繰り返す時代となりました。津市ではこれまで、国の防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策を活用しながら、**橋梁<sup>きょうりょう</sup>の長寿命化**などの事業を実施してきましたが、今後も国の交付金等を最大限に活用するため、現在策定を進めている津市国土強靱化地域計画に基づき、防災・減災、国土強靱化に向けてさらに取り組みを進めてまいります。

3つ目は、**副都市核「久居」の賑<sup>にぎ</sup>わい**です。令和2年は、津藩主藤堂高虎公の孫、**高通公**が「この地に永久に鎮居する」ことを願い、「久居」と命名してから350年、昭和45年に久居市が誕生してから50年に当たる節目の年です。悠久の歴史を奏でる久居のまちづくりは合併後の津市に引き継がれ、その核となる6月の久居アルスプラザのオープンによって、副都市核にふさわしい姿に生まれ変わることになります。2年目となる久居誕生350年事業も展開しながら、輝かしい久居400年に向けた新たな都市づくりのスタートの年にしてまいります。



## 令和2年度に取り組む主な事業

### 未来を担い築く子どもたちのための施策

- 保育定員の拡充(4月の芸濃こども園開園、6月の雲出保育園移転)
- 平成23年から取り組んできた学校施設の大規模改造工事の完了(令和2年度：西が丘小学校、久居中学校)



- 新たな長寿命化改修工事に着手(安濃小学校、修成小学校、朝陽中学校の設計)
- 桃園小学校の改修(プレハブ校舎解消に向けた配膳室の改修、エレベーター・多目的トイレの設置等)
- 椋本地区に2つ目となる放課後児童クラブ施設の新設、成美地区・栗葉地区の受け入れ人数拡大のための施設改修に向けた設計



- こども・子育てや出会い応援に係る新たな相談窓口の設置

### 市民が健やかで穏やかな人生を送るための施策

- 健康寿命の延伸に向けたフレイル対策の拡充(事業の企画・調整を専従で担当する保健師の配置、市内全域で各地域の特性に応じた取り組みの強化)



- 地域包括支援センターの再編・新設、在宅療養支援センターの専門職増員
- 歯周病検診の対象者を30歳にも拡大
- 乳児を対象としたロタウイルスワクチンの定期予防接種の開始